

令和元年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		9-	4
事業名	子育て支援センター事業	会計	款	項	目
		一般	3	2	3
施策	2	人にやさしいまち	課名	子ども家庭課	
	2-3	安心して子育てのできるまちをつくる	係名	子ども支援係	
	2-3-1	子育て支援の充実			
主要施策	④相談・援助体制の充実		⑤親育ちの支援		

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	未就園の幼児とその保護者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	未就園の幼児とその保護者を対象に、保育園、幼稚園の場所を提供し、保護者とのコミュニケーションを持っていただくことにより住民の子育て支援を図る。
事業内容	月～金まで、「なかよし広場」を開催するとともに、月2回各園を開放するちびっこパークを実施する。また月2回各地区に向いて行う「おでかけ広場」を実施し、未就園の幼児とその保護者を対象として受入れを図る。その中で、子育てに係る悩み相談や育児相談を行う。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
			平成30年度 (決算)		令和元年度 (決算)	令和2年度 (予算)		
全体事業費 (千円) A+B					7,017	6,982	14,949	
財源内訳	直接事業費 A				2,577	2,608	5,601	
	うち一般財源				2,577	870	1,867	
人件費 (千円) B					4,440	4,374	9,348	
内訳	一般職員 (人・千円)		0.4	2640	0.39	2574	0.98	6468
	臨時職員 (人・千円)		1	1800	1	1800	1.6	2880

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 (事業を拡充して継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R1年度の改善計画	ふれあいセンターに子育て支援センターを移設する。 施設の狭小や南に位置することで利用が不便であるとされる子育て支援センターの移設について検討する。	③取組の課題	ボランティア団体との連携や支援体制の見直しを行う必要がある。
②R1年度に実施した取り組み	ふれあいセンターへ移転する方針を固め、令和2年度予算に改修にかかる経費を計上した。	④今後の改善計画	施設の移設に伴う新しい運営方法等について、利用者の意見を聞きながら検討していく。また子育て支援ネットの会との運営上の調整を図る。